

KeTSlideの使い方

Setsuo Takato

KeTCindy Center

2024.12.23

layer 環境と \addtext

layer 環境

- `\begin{layer}{120}{60}~\end{layer}`
 - 横 120mm, 縦 60mm の範囲で 10mm ごとに格子線を引く
 - KeTSlide では `layer::{120}{60}~end` でよい
 - 縦を 0 とすると格子を描かない
- layer 自体は高さ 0 の picture 環境
 - したがって行幅をとらない

putnote

- `\putnote(s,se,...){8}{6}{要素}`
 - 8,6 を基準点として (s,se,...) 方向に要素をおく
 - KeTSlide では以下のように書いてもよい
$$\text{putnote}::(s,se,...)\{8\}\{6\}\{\text{要素}\}$$
 - fig フォルダに $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ の描画コードファイル (例えば figure.tex) を置いたときは以下のように書いてもよい (0.6 は縮小率)

$$\text{putnote}::\text{se}\{5\}\{6\}::\text{figure},0.6$$

\addtext (1)

- layer 環境の中で文を順に置いていく

```
\textinit[105]
```

% 初期位置設定．横幅 (default100) を決める

```
layer::{120}{0}
```

```
\addtext{8}{\ten}{文1}
```

% 書き出しの水平位置 左から 8mm

% 次の行の書き出しの垂直位置は+8mm

```
\addtext{8}{\ten}{文2}
```

```
end
```

`\addtext (2)`

- `\addtext[8]{8}{\ten}{ 文または図 }`
 - ・ 最初のオプション引数 `[8]` は前の行からの改行幅 (通常は 8mm) への追加分
前の行が複数行の時などに用いる
 - ・ `\ten[s]` は `\bullet` の `s` 倍 (デフォルトは 0.9)
- 番号付けは, `enm` カウンタで制御
 - ・ 最初に `\enminit(=\setcounter{enm}{1})`
 - ・ `\addtext{8}{(\theenm)}{...}\addenm`
- テキストに `\verb` は使えない

段階的表示

段階的表示の方法

1. repeat=に段階数を入れる (決まってから)

repeat=3

2. %[1]:: 要素 1 段のみ

3. %[2,-]:: 要素 2 段以降

4. %[-,2]:: 要素 2 段まで

5. %[2..4]:: 要素 2 段から 4 段まで

スクリプト例

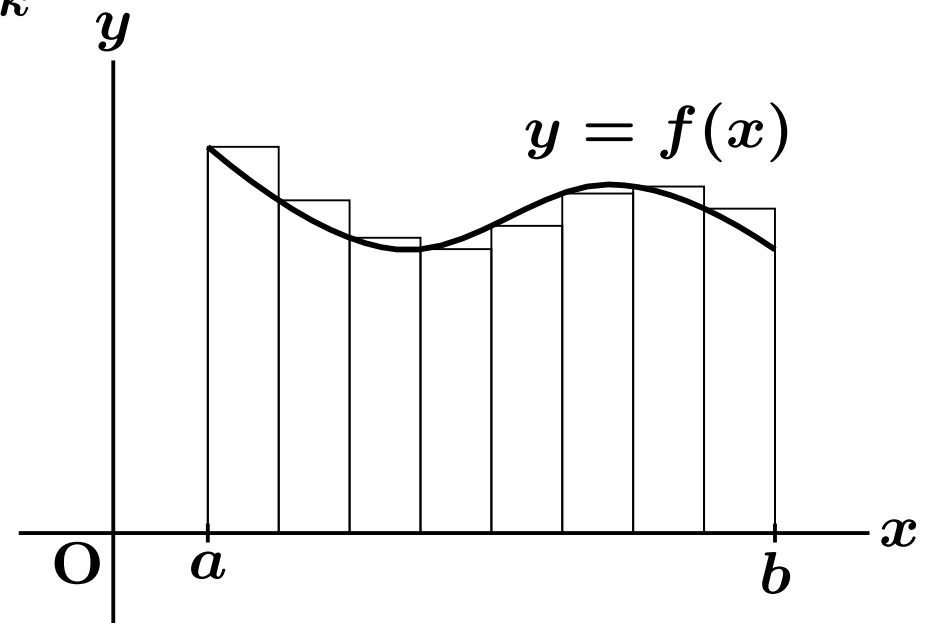
```
%repeat=4
\enminit
layer::{120}{0}
\addtext{8}{(\theenm)}{$. . . x_k$}\addenm
%[3,-]::\addtext[8]{8}{(\theenm)}{$f(x)\varDelta x$
を合計して極限をとればよい}\addenm
%[4,-]::\addtext[8]{8}{\ten}{面積でなくともよい}
%[2]::putnote:se{70}{25}:kubunkyuuseki8,1.25
%[3,-]::putnote::se{70}{25}:kubunkyuuseki8b,1.25
end
```

区分求積法と定積分 (段階的表示の例)

$$(1) \int_a^b f(x) dx = \lim_{\Delta x_k \rightarrow 0} \sum_k f(x_k) \Delta x_k$$

区分求積法と定積分 (段階的表示の例)

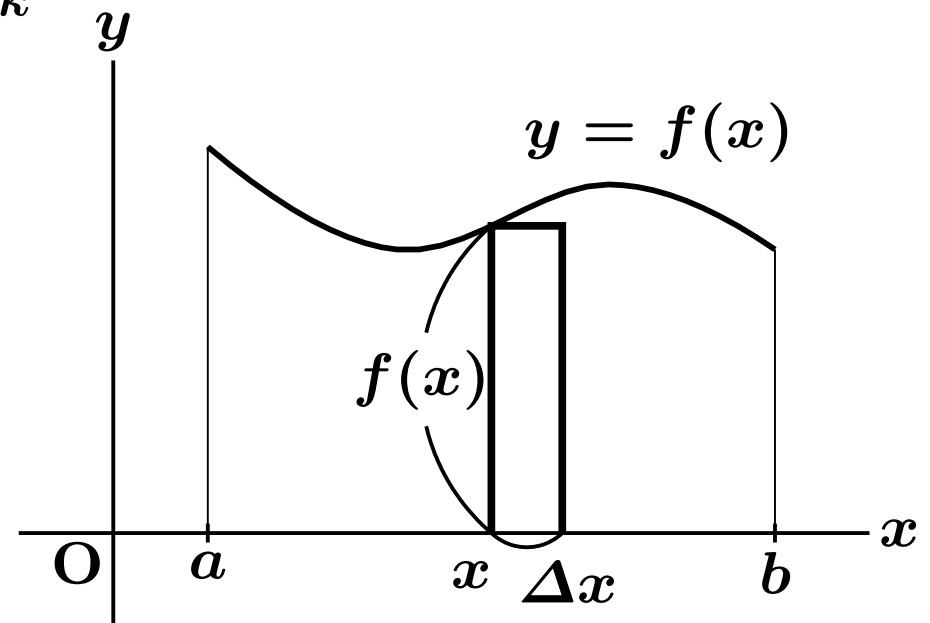
$$(1) \int_a^b f(x) dx = \lim_{\Delta x_k \rightarrow 0} \sum_k f(x_k) \Delta x_k$$



区分求積法と定積分 (段階的表示の例)

$$(1) \int_a^b f(x) dx = \lim_{\Delta x_k \rightarrow 0} \sum_k f(x_k) \Delta x_k$$

(2) $f(x) \Delta x$ を合計して
極限をとればよい

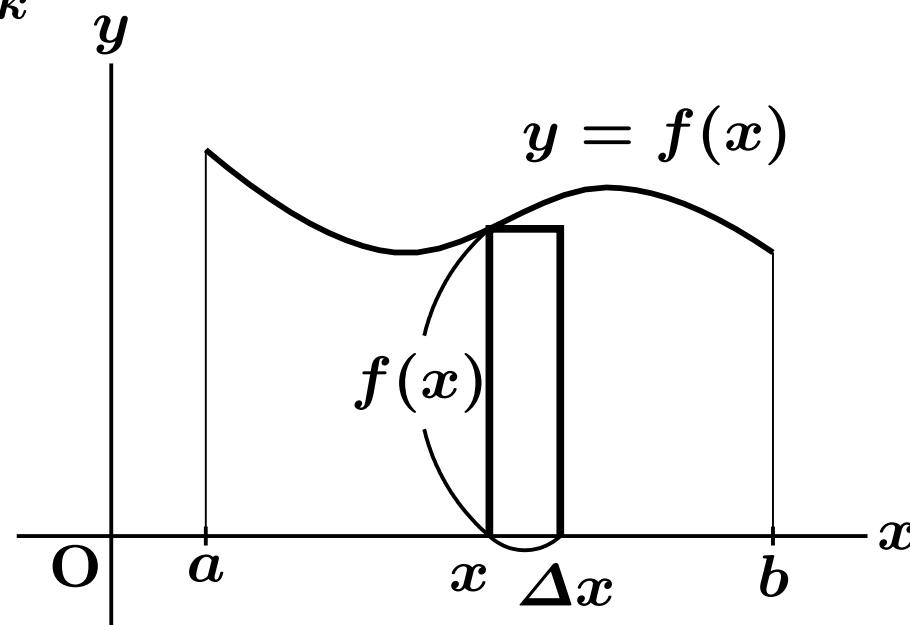


区分求積法と定積分 (段階的表示の例)

$$(1) \int_a^b f(x) dx = \lim_{\Delta x_k \rightarrow 0} \sum_k f(x_k) \Delta x_k$$

(2) $f(x) \Delta x$ を合計して
極限をとればよい

(3) 面積でなくてもよい



その他

itemize 環境の使い方

- itemize～end

itemize

item:: 内容

item:: 結論

end

enumerate 環境の使い方

- `enumerate::[] ~ end`
 `enumerate::[(1)]`
 `item:: 内容`
 `item:: 結論`
 `end`